授業科目	教育社会学					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	杉谷　修一						
授業概要	この講義では教育社会学の方法を使って、変化の激しい現代社会における教育上の諸課題について分析的に理解する。社会化概念を手がかりとして、子どもの社会的発達が具体的な学校・地域・家族・仲間集団でどのように展開しているのかを学ぶ。また、教育問題や課題およびそれに対する社会の取り組みについても学ぶ。 基礎的概念を用いて、現代社会における教育の構造と課題を理解する力、社会的・文化的文脈によって異なる教育のあり方を理解する力を養う。						
授業形態	講義			授業方法	Google Classroom の活用 ・自主学習の支援（レジュメ、資料等の掲示） ・学生からの質問等に対する回答・解説の掲示 ・Google フォームによるアンケートや小テストなど		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	(1) 子どもの社会的発達の概念の基礎を理解できる。 (2) 社会化およびそれと関連する概念の基礎を理解できる。 (3) 社会化の場と機能、歴史的展開の基礎を理解できる。 (4) 現代日本の主な教育課題を理解できる。 (5) 諸外国の教育事情や改革動向について理解できる。 (6) 教師の立場からこれからの学校のあり方について理解できる。
理想的レベル	(1) 子どもの社会的発達の概念を具体例と結びつけて説明できる。 (2) 社会化およびそれと関連する概念を具体例と結びつけて説明できる。 (3) 主な社会化の場と機能、歴史的展開を具体例と結びつけて説明できる。 (4) 現代日本の主な教育課題を理解し、それに対する取り組みの特徴を説明できる。 (5) 諸外国の教育事情や改革動向について、日本と比較しながら説明することができる。 (6) 教師の立場からこれからの学校のあり方について理解し、自分の考えを持つことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	－	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	NU24104J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）

予習 ・Google Classroom に掲示する資料（配布スライド資料、参考資料、動画リンク等）を活用する。 復習 ・予習で使用した資料に加え、授業中に指示した資料を活用し、興味、関心、疑問点を調べる。	4

授業計画	
第 1 回	教育社会学の基本的性格と方法論
第 2 回	社会化論から理解する子どもの社会的発達
第 3 回	家族における社会化
第 4 回	仲間集団における社会化
第 5 回	学校における社会化
第 6 回	地域における社会化
第 7 回	社会化の歴史的変遷（1）寺子屋と村落共同体
第 8 回	社会化の歴史的変遷（2）近代学校制度と都市の家族
第 9 回	現代における教育課題（1）学校にとっての連携・協働
第 10 回	現代における教育課題（2）教育と貧困・不平等
第 11 回	現代における教育課題（3）いじめと不登校
第 12 回	現代における教育課題（4）諸外国の教育事情・教育改革
第 13 回	これからの教育課題（1）情報化社会と教育
第 14 回	これからの教育課題（2）社会化と多様性
第 15 回	テーマ：試験と授業のまとめ
テキスト	住田正樹・高島秀樹『変動社会と子どもの発達　教育社会学入門』北樹出版

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	苅谷剛彦『学校って何だろう　教育の社会学入門』ちくま文庫 広田照幸『日本人のしつけは衰退したか』講談社現代新書 Google Classroom にて掲示する資料を参照のこと。
課題に対するフィードバックの方法	課題・質問等への回答は以下のように行う。 （1）授業中に全体に説明する。 （2）Google Classroom に掲示する。 （3）メールでの質問は本人への回答を基本とするが、許諾があれば全体で共有する。
学生へのメッセージ・コメント	社会学についての基礎的な理解があることが望ましいが、授業に関連する概念等については基礎から説明を行う。 テキストの内容を具体的にイメージしながら読むと理解が深まる。また、自分や周囲の教育経験・家族経験などを手がかりに社会化を考えて欲しい。また、時代･地域などが異なる場面での社会化を取り上げるので、現代の社会化状況と比較しながら考察することが必要となる。 テキスト内容を理解・記憶するだけでなく、レジュメやスライド、映像教材など様々な教材を通じて授業を進める。テーマに沿ってそれらの内容を結びつけながら理解できるよう授業に集中して欲しい。